

市町村議会議員特別セミナー

1月9日、10日の2日間の日程で、令和6年度3回「市町村議会議員特別セミナー」を開催し、全国各地から107人の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「やる気と仕掛けでまちは変わる！」と題して、元観光庁長官で大阪観光局理事長の溝畑宏氏から、歴史に残るような仕事をしたいとの思いから、様々な発想とチャレンジで商品の知名度向上や売り上げ向上につなげていった経緯をはじめ、あらゆる経験にはチャンスがあり、また市町村のアクセレーターが不可欠であること等についてご講演いただきました。参加者からは、「向上心、探求心が素晴らしく、刺激を受けた。有言実行も見習いたい」、「自分の地域を良くする決意を新たにするとともに、未来の市のあるべき姿（夢）を描いて、ロードマップを作っていく大切さを学ばせていただいた」、「コンプライアンスを気にしすぎて身の丈に納まるような動きしかできなかったが、講師の“ゼロを形にしていくな経緯”に勇気がわいた」などの感想をいただきました。

続いて、「いかに人間力・仕事力を磨き続けるか」と題して、株式会社原田教育研究所代表取締役社長の原田隆史氏から、人を育てるには、ふりかえりの重要性や心づくり（メンタルトレーニング）が不可欠であること、仕事で苦境に陥った場合にも、仕事を変えるのではなく、自分を変える（主体変容）ことが必要である等についてご講演いただきました。参加者からは、「世の中を変えるためには、重要な講義であった」、「教育革命は人間の人格革命であることを実感した」、「カリスマ性のある熱血者である」、「考えさせられる事例を聞きながら様々な現象について思いをはせながら現場力のすばらしさを実感した。実感した感覚になったのは私一人ではないので

は」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「住民から期待される議会になるには」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏から、町長経験などを通した議会における現実問題や、議会は「広報」よりもまず「広聴」が先でなければならない等についてご講演いただきました。参加者からは、「議会の果たすべき使命が確認でき、また議会改革を進める先の姿も理解できた」、「経験豊富な視点から行政側、議会側の立場、必要なポイントを教えていただき、すぐに実践できるので素晴らしい内容であった」、「生成AIを活用した効率化と知恵の支援を学ぶことができてもっと活用しようと思った」、「地域住民参画や議会と行政の対話による課題解決、そしてデジタルとアナログの活用的重要性を学んだ」などの感想をいただきました。

最後に、「超高齢社会における議会のデジタル化とは」と題して、早稲田大学電子政府・自治体研究所教授の岩崎尚子氏から、各種資料データなどを通した超高齢社会の現実やデジタルにおける将来の社会構造の問題意識について、さらに自治体規模によるAI等の導入可否による格差等についてご講演いただきました。参加者からは、「スマートAIの活用により、超高齢化社会人員不足を補足する役回りについて、日本が成功事例として世界の模範になるように取り組むことが大切と思った」、「人間のする部分もAIのする部分のバランスが議会においても社会においても問われていると思った」、「地域住民の情報発信力の強化やデータの分析など、議会の資質向上にとってより必要とされてきているが、行政を執行している側にとっても積極的に取り組む必要性を認識した」などの感想をいただきました。

やる気と仕掛けで まちは変わる!

大阪観光局理事長
溝畑 宏氏



いかに人間力・ 仕事力を磨き続けるか

株式会社原田教育研究所代表取締役社長
原田 隆史氏



住民から期待される 議会になるには

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
中村 健氏



超高齢社会における 議会のデジタル化とは

早稲田大学電子政府・自治体研究所教授
岩崎 尚子氏

